

平成27年1月16日

歯科医師の資質向上に関して議論する主な事項

<背景>

- ▶ 小児のう蝕罹患率の低下や8020達成者の増加がみられ、また、口腔と全身との関係に着目した知見が集積されるなど、高齢者のQOLの維持・向上を念頭におきつつ、各ライフステージに対して切れ目なく歯科医療を提供していくことが求められている。
- ▶ 平成23年8月には、「歯科口腔保健の推進に関する法律」が公布・施行され、口腔の健康が、質の高い生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を担っていることが条文で謳われていることを踏まえ、医療現場や介護現場と連携して歯科医療を提供していくことが不可欠となっている。
- ▶ 高齢化の進展に伴い、歯科医療機関を受診する患者像も高齢化・多様化しており、これらの患者に対応するための、歯科医療の提供の在り方や歯科医師の資質向上の検討が求められている。

